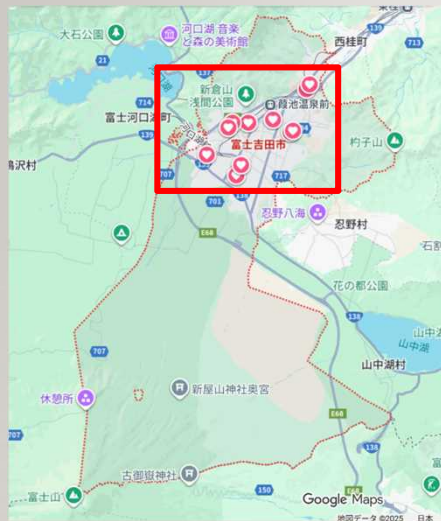


第1課題「教育目標・教育理念に関する課題」

学校運営協議会の 導入・運営に向けて

—CSに関する教頭としての関わり—

富士吉田市立学校の分布



● … 小学校 7校

● … 中学校 4校

計 11校

はじめに

コロナ禍を経て、ICTの普及などによる急激な社会の変化に伴い、学校と地域、社会を取り巻く環境はますます複雑化、多様化している。この変化の激しい社会の動向を子どもたちがしっかりと見据え、たくましく生きていくために、必要とされる力を明確にする中で、地域・保護者と連携し、学校運営していくことが必要であると考えます。

そこで、地域と学校の特色や課題を共有し、さらにどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを共有することが求められる。また、学校運営協議会（CS）の設置が努力義務化された中で、**既存の組織・団体をいかに有効的に活用していくか、教頭としてどのように関わっていくか**を市内の小中学校で**同じ歩調**で進められるように研究を深めていく必要性を確認した。

研究のねらい

- 各校のCS導入に関わる進捗状況を共有し、運営・推進方法にかかる内容を洗い出す。
- 情報交換などで、CSの成果や課題を共有しながら、教頭の役割について検討する。

3年間の計画

1年次（R5年度）

- ①研究テーマの設定，3年間の研究計画作成
- ②研究内容の検討
- ③学校運営協議会制度に関する学習会・参考資料の収集・情報共有

2年次（R6年度）

- ①各校のCS導入に関わる状況の確認
- ②CSにおける教頭の関わりについての調査・研究
- ③学校間の取り組みに関する情報共有
- ④CS導入1年目の成果と課題の検証

3年次（R7年度）

- ①2年間における研究成果を受けた継続研究
- ②昨年度までの学びをもとにしたCSにおける教頭の関わりについての調査・研究
- ③CS導入後の成果と課題の検証
- ④学校間の取り組みに関する情報共有（**地域に担ってもらえそうな取組の確認**）
- ⑤**保護者・地域への周知の方法**についての調査・研究
- ⑥3年間の研究のまとめと考察

R 6 以前の富士吉田市のCS（学校運営協議会制度）について － CS 導入校（吉田小学校）の経過等－

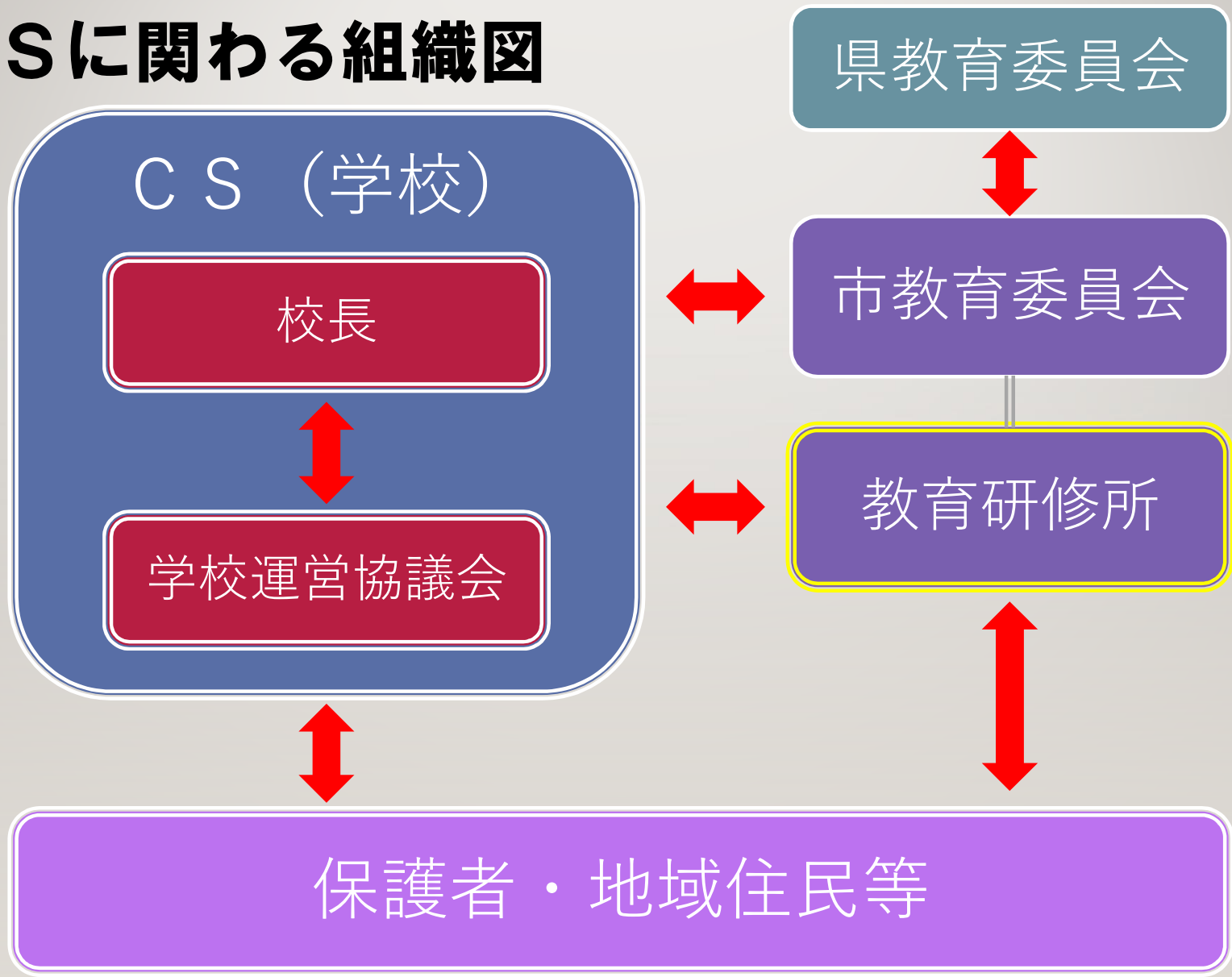
（1）発足当時から現在までの経過

平成29年度にCS導入等促進事業の指定を受け，PTA総会にて指定についての説明を行い，PTA新聞においても紹介を行う。職員については校内研究会で学習会を行うとともに職員会議において説明を行った。

平成30年度に富士吉田市より学校運営協議会設置の通知書を受けCS導入校となり，学校運営協議会委員を決定し，第1回学校運営協議会を開催した。

以降令和元年度から令和5年度まで年間2回の運営協議会は定例会として実施し，必要に応じて運営協議会を実施するようにしていた。

CSに関する組織図



学校運営協議会のメンバー構成

「富士吉田市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」
第4条より

- (1) 対象学校が所在する**地域住民**
- (2) 対象学校に在籍する児童又は生徒の**保護者**
- (3) 対象**学校の運営に資する活動を行う者**
- (4) 対象学校の**校長**
- (5) **識見を有する者**
- (6) その他教育委員会が**必要と認める者**

	(1)対象学校が所在する 地域住民	(2)対象学校に在籍する児童 又は生徒の保護者	(3)対象学校の運営に資する 活動を行う者	(4)対象学 校の校長	(5)意見を有する者	(6)その他教育委員会が 必要と認める者	人数
下一小	◎地域支援協議会会長 ・連合自治会長	・PTA会長	・旗振りボランティア (元PTA会長)	・校長	○元校長(2名) ・地元有識者(合唱指導者)		8
下二小	・自治会長代表	・前PTA会長 ・前PTA母親代表	・シニアクラブ代表	・校長	・元本校校長 ○元PTA会長 ◎元教育長 ・前教育部長		9
下東小	・自治会長	・PTA会長	・主任児童委員 ○学校安全ボランティア会長	・校長	◎元公立中学校長		6
明見小		・前PTA会長	・NPO法人母さんの楽校理 事長	・校長	◎元公立校長 ○元学校教育課長 ・元教育委員 ・地元有識者		7
吉田小	・自治会長	・PTA会長 ・PTA副会長	・幼稚園園長 ・民生児童委員 ・吉田小学区登下校見守りの ための自主防犯団員	・校長	◎大学教授 ○元本校校長		9
吉西小	○自治会長	・PTA会長 ・PTA副会長		・校長	◎元公立校長(3名) ・前PTA会長		8
富士小	○寿連合自治会長	・PTA会長 ・前PTA会長	・主任児童委員	・校長	◎元校長		6
下 中	○元PTA会長	・PTA会長 ・PTA援会長		・校長	◎元本校校長(2名) ・元民生委員 ・市役所職員		8
明見中		・PTA会長	・現明生連会長 ・地域主任児童員	・校長	◎元本校校長 ○元市教育長職務代理者 ・前PTA会長		7
吉田中	○元福祉施設長	・PTA会長		・校長	・元県立高校校長 ◎元本校校長 ・元本校PTA会長 ・元本校PTA副会長		7
富台中	・白糸連合自治会長 ・地域代表者	・PTA会長	○民生委員 ・上春地ふれあい協議会会長	・校長	・元校長 ◎元PTA会長		8

学校運営協議会の開催時期

○ 第1回 5月～ 6月

○ 第2回 9月～ 11月

○ 第3回 2月～ 3月

R7 第1回学校運営協議会の実施状況

・第1回学校運営協議会は、各学校において5～6月に、地域住民・保護者・学識経験者・学校職員等が参加し、開催された。多くの学校で教頭が資料作成・授業参観の案内・協議会の場の設定・連絡調整・会の運営などを行った。

・協議会では、委嘱状の交付後、会長・副会長の選出をし、会長が座長となり、学校経営方針・年間計画の承認、学校や地域の課題などについて話し合いが進められた。

※委員への連絡手段としては、封筒の手渡しや郵送に加え、メールやLINE、サイトを使った連絡を行う学校も見られるようになった。

第1回学校運営協議会の資料構成

- ① 次第
- ② 委員名簿
- ③ 学校運営協議会年間計画
- ④ 学校運営協議会の設置等に関する規則
- ⑤ C S 説明／学校運営協議会の組織について
- ⑥ 市学校教育グランドデザイン 【教育研修所資料】
- ⑦ 市学校教育指導重点（指針） 【教育研修所資料】
- ⑧ 富士山学習の推進 【教育研修所資料】
- ⑨ 学校経営方針／学校グランドデザイン
- ⑩ 学校行事計画

保護者・地域への周知の方法

- P T A 総会の校長挨拶で伝える
- P T A 総会でお知らせ
- P T A 総会で説明
- P T A 総会資料に添付
- P T A 新聞
- Google サイト, 地域回覧板, 家庭数お便り
- C S 通信
- お便りを地域の全戸配布

地域に担ってもらえそうな取り組み

小学校	取組内容	中学校	取組内容
下吉田第一小	旗振りボランティア	下吉田中	現状特になし
下吉田第二小	シニアクラブによる花壇の管理	明見中	植木の剪定, 引っ越しの手伝い 明生連
下吉田東小	キャリア教育講師, 金管指導	吉田中	リサイクル活動
明見小	畑づくり	富士見台中	不審者対応
吉田小	消防団による側溝清掃 (旗振り, 町探検, 学習サポート, 読書ボランティア)		
吉田西小	授業支援, プール, 町探検		
富士小	富士小ガード・白糸地区見守り隊, 学習活動・環境活動・安全活動 (ちょっくらクラブ)		

CS導入，運営に関する課題

- 意見をいただいているのみの活動となっている点。
- 今までの活動（学校評議員会）とCSとの違い。
- PTA活動やシニアクラブの活動を**持続可能なもの**としてどう組み入れていくか。
- 学校主体となっている現状を，いかに**CS委員の主体的な活動**にしていくか。
- CS委員への研修の必要性
- CS委員のメンバー構成のあり方
- コーディネーターの配置（予算面，人材面）
- 学校運営協議会の持ち方**
- CSのビジョンをどこに置くか。

C S 導入，運営に関する課題を受けて

○「熟議」の導入について

熟議とは，多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話であり，「最適解」ではなく，「納得解」を見出すことが大切とされている。**参加者が大切にしたい3つの意識として，「傾聴意識」「学ぶ意識」「当事者意識」があげられる。**

今後，市内小中学校にて実施が考えられるスタイルとしては，「学校運営協議会委員で行う」もしくは「学校運営協議会委員＋教職員で行う」があげられる。また，テーマの設定については，「1つのテーマについて熟議する」形が考えられ，学校が課題と感じていることの解決や理解につなげることが望まれる。

討議の柱

○働き方改革を実現し、
持続可能な形で
CSを運営していくためには
どのようにしていくことが
求められるか？